

評価項目	十分（４）	概ね十分（３）	やや不十分（２）	不十分（１）
I 研究テーマと変数の設定	研究テーマ設定に当たり、研究の意義や目的が明確に分かりやすく記述されている。また、課題を解決・解明するための調査・研究において設定する変数が根拠を基に適切に設定されている。さらに、研究テーマと変数との関係が明確に記述されている。	研究テーマ設定に当たり、研究の意義や目的が明確である。また、課題を解決・解明するための調査・研究において設定する変数が概ね適切に設定されている。	研究テーマ設定に当たり、研究の意義や目的は明確であるが、課題を解決・解明するための調査・研究において設定する変数の必要性が曖昧である。あるいは、変数の設定は適切ではあるが、研究の意義や目的が不明瞭である。	研究テーマ設定に当たり、研究の意義や目的が不明瞭で、変数の設定も適切とは言えない。
II 論理的な整合性と研究の筋道の構成	あらかじめ設定した仮説や目的に対して、どこまで解明できて、どこが不十分かなど、仮説や目的と結論との間に整合性がある。また、結論に至るまでの過程において、根拠を基にした論理的な考察がなされている。これらのことを踏まえた上で研究の筋道が適切に構成されている。記述に当たっては、文脈が整っており、読者が納得できる形となっている。	あらかじめ設定した仮説や目的に対して、どこまで解明できて、どこが不十分かなど、仮説や目的と結論との間に整合性があり、論拠や論理展開も概ね適切である。	あらかじめ設定した仮説や目的に対して、どこまで解明できて、どこが不十分かなどの記述が明確ではなく、結論が曖昧である。また、結論に至るまでの記述で、論拠が曖昧なところも見受けられる。	あらかじめ設定した仮説や目的に対応した結論になっていない。また、結論に至るまでの記述で、論拠が曖昧なところが多々見受けられる。
III 基本的な概念、原理・法則などについての理解と整理	研究活動に必要な専門用語や設定した変数・概念の意味についての説明が、第３者にもよく分かるように明確に説明してある。（高校生の研究発表については専門外の一般の方を対象とした機会も多い）	研究活動に必要な専門用語や設定した変数・概念の意味についての説明がなされている。	研究活動に必要な専門用語や設定した変数・概念への言及があるが、やや曖昧であったり、同一の概念に複数の言葉が当てられていて読者が混乱したりする恐れがある。	研究活動に必要な専門用語や設定した変数・概念の意味についての記述がない。
IV 科学的・統計的な考察とデータ処理	設定した変数に関するデータが必要かつ十分に収集されており、平均だけでなく標準偏差なども合わせて記述されている。また、誤差に関する考察や、自然科学系のグラフにおいては、エラーバーなども付されている。	設定した変数に関するデータが必要かつ十分に収集されているが、データのばらつきや誤差についての考察が十分ではない。	必要なデータが、収集されているが、結論付けるまでの十分な量ではない。	十分な量のデータが収集できているとは言い難い。
V 様式や図・表、グラフの適切さ	指定された論文の様式にしたがっており、図・表、グラフについても最も効果的なものが選択されている。図・表、グラフに必要なラベル・単位やキャプションなども適切に付されている。	指定された論文の様式に概ねしたがっており、図・表、グラフについても適切なものが選択されている。図・表、グラフに必要なラベル・単位やキャプションなども概ね適切に付されている。	指定された論文の様式に即していないところが多い。図・表、グラフについても必要なラベル・単位やキャプションなどが付されていないものが散見される。	指定された論文の様式に即しているとは言い難い。図・表、グラフについても必要なラベル・単位やキャプションなどが付されていないものが多い。
VI 先行研究のレビューと新規性、創造性	良質で信頼の置ける論文（可能な限り査読付き）や書籍などの先行研究のレビューが十分になされており、自分たちのオリジナリティがどこにあるのが明確に記述されていて独創的である。また、論文の末尾に参考としてこれらの文献が遺漏なく挙げられている。	参考欄に先行研究が挙げられており、先行研究の成果と自分たちの研究成果が明確に区別できるように記述されている。研究成果に新規性が見られる。	参考欄に先行研究が挙げられているものの、先行研究の成果と自分たちの研究成果の区別がやや不明瞭である。	参考欄に先行研究の論文や書籍などが挙げられておらず、論文の中にも先行研究への言及が見られない。

※「変数」について：本校では変数を厳密な数値の他にも「明・暗」「喜・怒・哀・楽」など分類・区別・カウント可能な定性的な表現も含めて幅広く捉えている